

語学教育のための学習環境デザイン

—eポートフォリオ連動型フランス語学習デジタル教材—

Design of Learning Environment for Language -Digital Materials with ePortfolio for Studying French-

有富 智世, 喜久川 功
Chise ARITOMI, Isao KIKUKAWA
常葉大学
Tokoha University
Email: aritomi@fj.tokoha-u.ac.jp

あらまし：初修外国語教育を対象に、授業内外での汎用性を備えたフランス語学習デジタル教材の開発を行った。本教材は、紙教材とデジタル教材の双方のメリットを鑑みて制作し、学習支援のポートフォリオも学習コンテンツと連動させる仕組みで作り上げた。一般的なフランス語入門用教科書との併用が可能で、PC 並びにスマートフォン等での同等使用も実現した。学習環境デザインから創成した本教材から現場が求める教材について呈したい。

キーワード：語学教育，フランス語，学習環境，デジタル教材，eポートフォリオ

1. はじめに

初修フランス語教育における授業改善や自主学習促進を視野に入れた教材の研究開発を行ってきた。授業の内外で学習のベースとなる教材は、学びの主軸となるツールである。授業者と学習者の双方において、教室環境や学習活動に適合する汎用性の高い教材が求められる。そこで、紙教材とデジタル教材の双方のメリットを融合し、学習支援のポートフォリオも学習コンテンツと連動させてフランス語学習を広く支援する先進的な第二言語学習支援システムを構築した（デジタル教材「Web〈なびふらんせ〉」：2013年4月1日より公開）。本教材は、一般的なフランス語入門用教科書との併用ができ、PC並びにスマートフォン等での同等使用も可能にした。語学教育に携わる者の視点から創成した本教材は、いま現場で求められている教材を形にしたものである。本稿では、他の言語教育においても参考例となり得る学習環境のデザインを呈する。

2. デジタル教材の概要と活用

フランス語入門用教科書で学習する文法範囲を12課で構成し（実用フランス語技能検定試験5級レベル）、各課に7つの学習コンテンツ（文法、文法練習問題、語彙と表現、動詞活用、動詞活用練習、資料、写真と動画）と総合問題のコンテンツを備え、独自開発のeポートフォリオを搭載した。

授業では紙教材の教科書をベースに進める教員が多い。これは「読む」「書く」行為との関係において紙の利便性を重要視しているからである。授業では、学習者個々に教科書を有効利用させながら同時にデジタル教材の効率性を活かして学習コンテンツを導入し、学習活動の活性化を図ることが望ましい。

2.1 文法のコンテンツ

文法コンテンツは文法参考書に当たる。学習者には予習/復習用に提供でき、プリントアウトで使用した場合もノートや参考資料として活用できるよう配慮した（PDF/A4サイズ約2枚で作成）。紙教材の良さを取り入れ、かつ必要に応じていつでもWebで確認できる「ミニ文法参考書」である。これを授業時の文法解説では「デジタル教科書」として使用する。黒板使用による解説からプロジェクターで例文や図表を提示し、時間短縮で効率よく解説が行える。学習者にとっても表示の見易さは解り易さに繋がる。iPad使用の場合は、注目させたい箇所を簡単に拡大/縮小できる点でさらに有効性が高まる。授業外の学習支援としても理解に遅れの見られる学習者を置き去りにせず、細やかなサポート教材の提供となる。

2.2 文法練習問題のコンテンツ

デジタル教材の良さは、紙教材のような紙面の制限を受けないことである。文法事項定着のための十分な問題数を用意し、学んだ文法をクイズ感覚で解きながら習得度を高めていけるものとした。反復学習を想定してアクセスする度に問題はシャッフルされる。語学学習の練習問題としては、「書く」行為も含め設定した。また、授業時にこのコンテンツからプロジェクターで練習問題を提示し、必要に応じて板書やハンドアウトの手間もなく練習問題の追加ができることも想定し作成した。（総合問題のコンテンツも同様の活用ができる）

2.3 資料および写真と動画のコンテンツ

語学学習において文化事項の学びと関連付けて学習活動を展開することは大切である。紙教材では紙面の有限性から資料や情報の掲載に制限が加わる。

デジタル教材はこの問題を一掃し、豊富な資料や多くの写真と動画の提供を可能にする。授業時にこれらを有効利用して様々な学習活動が行える。

また、言語が話されている背景（現地）の歴史、生活、文化、芸術等について学習者が関心を深め、さらに知りたい情報へと自らアクセスする学びへ導けることも期待できる。デジタルという媒体で学ぶからこそ見込める学習効果である。さらに、本コンテンツは、場面に合わせた対話文の作成や文化事項の調べ学習等にも利用でき、iPad 等でのグループ学習にも展開できる点で学びの拡張が望める。

2.4 その他のコンテンツ

語彙と表現、動詞活用、動詞活用練習のコンテンツは、フランス語/日本語が瞬時に移行するカード形式の Web 教材版で、「文字の提示」と「音声の確認」と「語彙の暗記」を同時に学習させることができる。

また、動詞活用も練習問題で効率よく量を消化しながら慣れさせていくもので、学びたい時に PC やスマートフォンから気軽に学べ、反復練習ができる教材の提供となっている。

3. e ポートフォリオ

学習者は教室での学習内容と平行し、先述の学習コンテンツを用いて自主学習を進める。ポートフォリオは、学習コンテンツを使って学ぶ「学習サイクル」の連環の中で学習記録が自動的に蓄積され、学習過程と習得度を学習者自身が省察しながら語学学習を継続していけるようシステム化を図った。デジタル教材の各課学習の区切りに「テスト」を用意し、学習者は「テスト結果」から学習の「省察（コメント）」を記述する。デジタル教材ならではの即時性や効率性および利便性から学習者各自が自己省察および学習過程におけるフィードバックを手軽に行い、タイミングを逃さない効果的なポートフォリオを実現化した。

また、ポートフォリオには、「クラス設定」と「ポートフォリオ・ベストプラクティス」の 2 機能を加えて拡張させた。

「クラス設定」機能は、教員がクラス毎のポートフォリオ一覧から学習状況の把握および理解度等の情報を集約的に得て授業に反映できるよう開発したものである。個別対応やクラス単位の現状把握のみならず、学期末の評価等においても相対的な参考資料として利用できる。

「ポートフォリオ・ベストプラクティス」機能は、ある学習者のポートフォリオを氏名・学籍番号等を匿名にして保管し、他者に公開可能なフォーマットで提示できるもので、授業を共有する学習者間での学習過程の見直しに繋がれるものである。他者と繋がり、情報の共有化が図られるデジタル教材の良さを活かして授業時にフィードバックで利用できるよう開発した。

4. おわりに

現在はスマートフォンが普及し、様々な語学教材のアプリもダウンロード可能である。しかし、授業形態で使用するフランス語入門用の何らかの教科書と併用でき、「読む・書く・聴く・話す」の総体的学びに配慮し、かつ異文化理解の学びにも通じたデジタル教材は、アプリでは存在しない。学習内容自体に偏りのあるものやインスタラクショナルデザインを感じられないものが散見される。授業形態を主とした授業内外での学習において効果的に利用するには補足のためかなりの工夫を要する。デジタル教材の開発においては、インスタラクショナルデザインを強固なベースに、学習者に何を実行すれば着実に力がつき、学習を継続する中でどう発展するのかを明解に知らしめ、学習者の心理に立った教材の具体化に腐心した。

紙媒体である教科書、PC、スマートフォン等の各特性を活かして使い手の可能性を上げ、学習の目的やタイミング（状況）に応じてこれらを自由にシフトできる学習環境を整えることが有効だと考える。学びのための教材を様々に提供しつつこれらが有機的な繋がりを成すことを学び手に明確化し、学習者が複数の教材を自由に繋げて学び方を見出せる媒体を創ることが、教育の情報化の推進においてまさに求められている教材開発ではないだろうか。

教材間の繋がりや連環的学びが学習者に明示され、授業時における「学習コンテンツ」の導入、「クラス設定」機能を利用した「e ポートフォリオ」の取り込み、「ポートフォリオ・ベストプラクティス」機能を使用してのフィードバックなどにより、授業の内外で教員と学習者が結びつき、学習者間においても学びの共有が図られることが理想である。このような学びの実現を可能にする学習環境のデザインを現場の教員が主体的に教材開発に取り組み、公表して問うていくことが、新たな学びのあり方の模索に繋がるのではないだろうか。

謝辞

本研究は JSPS 科研費 26370678 の助成を受けた。

参考文献

- (1) 有富智世, 喜久川功: “Web (なびふらんせ) 2014” (<http://naviflr.jp/>), (2012-2014)
- (2) 有富智世, 西岡安奈, 前田美樹: “初修フランス語教育における共通教材を用いた 3 つの授業実践”, 第 28 回関西フランス語教育研究会にて口頭発表 (2014)
- (3) 有富智世, 喜久川功: “教科書連動型デジタル教材に搭載の e ポートフォリオを取り入れた評価の試み”, 第 28 回関西フランス語教育研究会にて口頭発表 (2014)
- (4) 有富智世, 喜久川功: “フランス語学習支援の可能性—教材「Web (なびふらんせ) 2013」の活用と e ポートフォリオのあり方—”, 教育システム情報学会「研究報告」Vol.28, No.3, pp. 39-44 (2013)